

# レポート作成のためのセルフチェックループリック

レポートを書き終えてホッとしているそこのアナタ！提出前にこのループリックでチェックしてみよう！

**目標はチェックリストの全てを満たすこと！**

※ループリックとは…求められる到達目標をどの程度達成できているかを確認するための評価ツールです。

評価 観点	☆	☆☆	☆☆☆	☆☆☆ に向けたチェックリスト
課題理解力	課題において、何を問われているのかがわからっていない → 文字数だけにこだわるなど、課題の意図、書くべき内容の理解が不十分である	→ 何を問われているのか、課題の意図、書くべき内容を理解している	□課題の内容は理解できていますか？ □課題の「型」（報告型・論証型など）を理解していますか？ □指定の用紙・分量・書式を守っていますか？	
情報収集・分析力	課題に関して必要な情報の収集方法（図書館・インターネット活用を含む）がわからっていない → 課題に関して必要な情報の収集方法（資料の内容・種類など）に偏りがある	→ 課題に必要な情報をどのように収集したらいかわからっており、偏りなく複数集めている	□課題の意図を理解して、どのような資料や分析が必要なのかをわかっていますか？ □課題に関連する資料は十分に集められていますか？ □集めた情報を適切な形にしていますか？	
	課題に関する資料を読んでいない → 課題に関する資料を読んでいるが、その内容についての理解に欠ける	→ 課題に関する資料の内容を理解した上で、自分の意見と関連付けられている		
論理的思考力	文章全体を通して何が言いたいのかわからない → 文章全体を通して何が言いたいのか焦点をしぼりきれていない	→ 文章全体を通して何が言いたいのかが貫している	□レポートのタイトルはわかりやすいですか？ □序論・本論・結論の形で書かれていますか？ □論点（問い合わせ）の設定はできていますか？ □主張（あなたの意見）を、その根拠とともに明確に示していますか？ □論理展開に矛盾や飛躍がなく、わかりやすい順序で書かれていますか？ □問い合わせと対応した結論（主張）になっていますか？	
	「なぜそう言えるのか」を示すための理由や根拠がない → 「なぜそう言えるのか」を示すための理由や根拠らしきものはあるが、矛盾や飛躍がある	→ 「なぜそう言えるのか」を示す理由や根拠が適切であり、矛盾や飛躍がない		
	文と文の前後のつながりがない → 段落ごとの前後のつながりがない	→ 文と文、それぞれの段落を、適切な接続詞などを用いて論理的につなげることができている		
表現・発信力	借り物の言葉が多く、自分の言葉で書いていない（コピペらしき箇所が多数ある） → 自分の言葉で書こうとしているがコピペらしき箇所が残っている	→ 借り物でない自分の言葉を用いて、自分の考えを表現し、発信できている	□「です・ます調」ではなく、「である調」で書かれていますか？ □長すぎる一文はありませんか？ □主語と述語の関係が不適切な箇所はありませんか？ □誤字脱字はありませんか？ □段落はじめの一字下げ（1マス分空ける）ができますか？ □接続詞や文末で、同じような表現を繰り返し使っていませんか？ □引用した文章や図表が、自分のものと区別されていますか？ □出典元（著者名・出版年・引用ページ番号など）は適切に明示できますか？ □本文の後に、参考文献一覧を載せていますか？	
	文中や文末の引用箇所の表記が適切でない（全く守っていない） → 文中や文末の引用箇所の表記が適切でない箇所がある	→ 文中や文末の引用箇所の表記が適切である（完璧に守られている）		
	誤字脱字、文体の不統一など、表現における問題が多見られる → 誤字脱字、文体の不統一など、表現にかかわる点において見落としがある	→ 誤字脱字がなく、文体が統一されているなど、表現における問題がない		

※引用の仕方や参考文献一覧の記載方法は研究分野や先生によって異なることがあります。レポート提出前に先生に確認しましょう！

<参考文献>関西大学「ライティングセンターループリック」

津田塾大学「ライティングセンターループリック」

龍谷大学「レポートの書き方チェックシート」

# NGレポートアラカルト



次に挙げるのは、昔から言われてきたダメなレポートの例です。皆さんのレポートは該当していませんか?  
表面のルーブリック※を使ってチェックしてみましょう！

※ルーブリックとは、求められる到達目標をどの程度達成できているかを確認するための評価ツールです。

## 【紹介型】

事典的で、ただ人の論や疑念を紹介しているだけのレポート。

## 【教科書型】

その分野を網羅しているが中身の浅いレポート。

## 【勉強しました・ワタシ偉いでしょう型】

左の二つに近い。レポートを暗記勉強と勘違いしているレポート。

## 【調べました・実験しました型】

調査や実験・実践のレポートに多く、「調査しました。データ出しました。」で終わっている論証のないレポート。

## 【虎の威型】

偉い人の論を解釈や論評することなく、ただ引用しているだけのレポート。

## 【思いつき型】

出だしやアイディアはいいのだが、思いついたままに書いてるので、結論が見えずに終わっているレポート。

★レポート作成で行き詰まっている方や記載内容で不明な点はピアソーターまで！

活動日：月～金曜日 12:15～16:00

活動場所：図書館1階アクティブラーニングエリア

出典：小笠原喜康(2009)『新版 大学生のためのレポート・論文術』,pp.212-213(一部修正)

成城大学ピアソーター